

# 水稻技術情報 NO-9

平成29年6月21日  
営農支援課

## 生育はいまだ回復せず

### 1. 水稻の生育状況(あきたこまち)

前回の調査以降も低温日が続いたことで「あきたこまち」の葉齢からみた生育は、田植え時期がほぼ同じ昨年と比べ「**3日程度の遅れ**」、茎数や葉色からみた生育量は『**著しい不足**』であり、他品種も同様の生育状況となっております。

今後、気温の上昇が見込まれますので、引続き浅水管理による地温確保を心がけ、生育の回復に努めてください。

現在、葉色測定葉の葉身が細く、黄化状態にあることからSPAD値で「30」を下回る圃場も多く見受けられますが、新葉は平年並みの葉色となっております。今後、気温の上昇による生育の回復が予想されることから、葉色を参考とした追肥は控えるようにしてください。

水稻定点調査圃の生育状況(6月19日)

品種(平均)	草丈(cm)		茎数(本/m <sup>2</sup> )		葉齢(葉)		SPAD	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
あきたこまち	28.3	31.4	129	239	6.6	7.7	33.5	41.2
(慣行)	27.4		106		6.2		30.9	
(側条ペ-ス等)	29.0		150		6.9		35.7	
前年比	92%		65%		-0.4葉		80%	
平年比	90%		54%		-1.1葉		81%	
たつこもち	33.9	33.1	110	246	6.5	7.6	28.7	42.0
きぬのはだ	31.3	34.4	145	242	7.1	7.7	30.6	40.0
ときめきもち	33.6	34.1	154	237	6.6	7.5	32.6	40.9

### 2. 今後の技術対応

#### 1) 水管理

「上位葉の葉先の黄化」「発根が少ない」「葉が細い」などの還元障害の症状により、分けつの発生が少ない圃場では、晴天日に3日～4日程度落水してから水を入替え、茎数確保に努めてください。また、葉色を除いた生育量が極端に少ない圃場は、硫酸を10a当たりN成分量で1.0kg程度を目安に追肥を実施してください。

なお、順調に茎数が確保されている圃場については、葉齢9葉を目安に中干し・溝切りの準備を進めてください。

#### 2) 病虫害防除

##### ・アワヨトウ

6月上旬に成虫の飛来が確認されており、卵から孵化した幼虫が現在、刈取り直前の麦圃場等で散見されております。今後、麦刈りに後に水稻圃場への移動が予想されますので、麦圃場に隣接している圃場等は特に警戒が必要となりますので、麦刈り時より深水での湛水状態を保ち、幼虫の侵入を防いでください。また、畦畔付近を注視し、幼虫の発生が見られた場合は、JA営農支援課にご連絡・ご相談ください。(電話 45-3033)

※小麦の刈取り予想は6月27日頃です。

※ 圃場での「ばか苗」は、見つけしだい抜取りをよろしくお願いいたします。